

UN Women プレスリリース

UN Women 新事務局長にプムジレ・ムランボ-ヌクカ氏（南アフリカ出身）

ニューヨーク（7月10日発）パン・ギムン国連事務総長は、南アフリカ出身のプムジレ・ムランボ-ヌクカ（Phumzile Mlambo-Ngcuka）氏を、ジェンダー平等と女性の権利推進に向けて活動する国連の組織、UN Women の新事務局長に任命したことを発表した。この発表は本日の記者会見の場で国連事務総長のスポークスマンを通じて行われたものである。

プムジレ・ムランボ-ヌクカ氏は、戦略的リーダーシップ、合意形成、管理実務に関する問題処理の経験とともに、女性の問題に対する提唱活動に豊富な経験を持つ女性として事務局長に就任する。彼女は、2005年~2008年まで南アフリカ初の女性副大統領として務めた。1994年に国会議員となって、公共サービス事業委員会の長を務めた後、貿易産業省の副大臣(1996~1999年)と、鉱物・エネルギー大臣（1999~2005年）を歴任し、芸術・文化・科学・科学技術大臣代行を一時(2004年)務めた。

またジュネーヴにある世界キリスト教女子青年会（YWCA）の女子青年部コーディネーターを務め(1984~1986年)たほか、統一民主戦線の加盟団体として1983年に設立されたナタール州女性組織の会長を務めた。さらに2008年には、ウムランボ財団を設立し、南アフリカの貧困地域の学校の教師の研修の支援と、マラウイの地元パートナーとの協力による学校の改善事業の支援をした。氏は、ケープタウン大学で教育計画・政策哲学の修士(2003年)とレソト大学の教育学学士(1980年)の学位を修得したほか、2003年には、ウエスタン・ケープ大学から名誉博士号を授与されている。

1955年生まれ、結婚して、3児の母親である。

平野和子（UN Women 日本国内委員会理事） 訳